

学校教育目標 「**おい**に学び **やさしく まっすぐ**伸びる」児童の育成
～夢と希望にあふれる元気いっぱいの学校～



みんな大好き大山っ子

有田町立大山小学校

学校だよりNo.24

令和8年10月14日発行

文責:校長 川原 悟



右上のQRコードを読み取っていただくと大山小学校ホームページからも御覧いただけます。

心を育み、絆を深める6年生

卒業まで半年を切ったこの時期、6年生は自分の成長や家族との関わり、命の尊さを深く見つめ直す大切な行事が続いています。今回は、地域の皆様や専門の講師の方に支えられて実施された「親子木工教室」と「思春期教室」の様子を御紹介します。

①親子の会話と笑顔が広がる「親子木工教室」

毎年恒例となった6年生の「親子木工教室」を開催しました。講師としてお越しいただいたのは、地域の「川内産業」の立部様です。毎年「親子で最高の思い出を作ってほしい」という温かい思いから、材料・道具の準備や指導まで、ボランティアで御協力いただいています。学校として、本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。



作業が始まると、子供たちはもちろんのこと、保護者の皆様もいつの間にか夢中になり、親子で額を寄せ合って作業に没頭する姿がとても印象的でした。完成した作品はどれも思いの詰まった素敵なものばかりでした。この手作りの作品が家庭での会話のきっかけとなり、いつまでも大切な思い出とともに残っていくことを願っています。

②命の奇跡と感謝を感じた「思春期教室」

福岡より熊丸みつ子先生をお招きし、「思春期教室」の授業を行いました。熊丸先生には、有田町、そして大山小学校へ20数年前から毎年お越しいただいており、保護者の皆様の中にも当時、お話を聞かれた記憶がある方がいらっしゃるかもしれません。



授業中、子供たちは熊丸先生のお話に興味津々で、吸い込まれるように聴き入っていました。「自分が生まれてきたことは奇跡であること」「両親や周りの人へ感謝すること」「いただいた命を大切に生きること」を伝えられました。温かく力強い言葉の数々に、誰もが命の重みを実感し、あっという間に時間が過ぎていきました。

地域の方々の愛情や専門の先生の温かいメッセージに包まれながら、子供たちは一日一日、心豊かに成長しています。御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

温かい贈り物に感謝します!



学校近隣にお住まいである前田様より、先日たくさんのドングリを持ってきていただきました。袋一杯に入ったドングリは、丸々としてとても大きく、きれいなものばかりでした。また、枝付きのものまでいただき、どのように木に実っているのかが分かりやすく、子供たちもきっと喜ぶはずです。

このドングリは、低学年の生活科の学習で大切にに使わせていただきたいと思います。温かいドングリの贈り物、本当にありがとうございました。

